

特集

「細川コレクション 永青文庫展示室」  
4月25日(金) 県立美術館にオープン

えいせい



国宝「時雨螺鈿鞍(しぐれらでんくら)」鎌倉時代  
前輪高29.7cm、後輪高35.0cm 【展示期間/6月1日(日)まで】  
慈円僧正(じえんそうじょう)の和歌「わが恋は 松を時雨の染めかねて 真葛が原に 風さわぐなり」の歌に基づきデザインされたもので、螺鈿の鞍の最高傑作といわれています。松にからまる葛(かずら)の葉が、時雨に打ちなびく様子や「時雨、染、恋」などの文字を散らした文様を見事な意匠(いしょう)で表現しています。 ※螺鈿とは、貝殻を使って装飾する工芸技法です。

永青文庫とは?

永青文庫は、江戸時代に肥後熊本を治めていた細川家に伝わる美術工芸品や歴史資料などを保存・研究するために、昭和25年、細川家第16代当主の細川護立(もりたご)氏(1883~1970)が、東京都文京区目白台に設立しました。細川家に古くから伝来した絵画や書蹟(しよせき)、武器武具、調度類のほか、膨大な数の古文書(こもんじよ)類、また、美術品コレクターとしても知られる護立氏が収集した横山大観(よこやまたいかん)、菱田春草(ひしだしゅんそう)などの近代日本画の名品など、国宝8点、重要文化財31点を含め数万点が所蔵されています。

永青文庫の名前の由来

「永」の字は、細川家の始祖 細川頼有(よりあり)から、8代までをまつる京都建仁寺ゆかりの小寺院「永源庵(えいげんあん)」から、「青」は、肥後細川家初代細川藤孝(ふじたか)「幽斎(ゆうさい)」が居城とした京都の青龍寺城(しやうりゆうじよ)からとって、設立者の護立氏が「永青文庫」と名付けました。

県立美術館に  
永青文庫展示室が設けられる  
ことになったきっかけ

県立美術館では、昭和51年の開館当初から、永青文庫の多様な作品を紹介する特別展や企画展をシリーズで開催してきました。専門家や美術愛好家の間からは、東京にある永青文庫の名品を熊本で見ることができると貴重な機会だと注目されてきたのです。

その間、優れた美術的価値を有するとともに、熊本とゆかりの深い永青文庫の所蔵品を、常時熊本で鑑賞できるようにしてほしいとの県民の期待も大きく、その長年の期待が実を結び、ついに常設の展示室が開設することになりました。

開館記念展について

永青文庫展示室の開館により、それらの所蔵品を熊本で鑑賞できるようになります。7月6日(日)までは展示室のほかに、美術館本館の2階展示場も使い、開館記念展「細川歴代の文と武と美」の第1部を開催します。国宝「時雨螺鈿鞍」や重要文化財の「黒き猫」をはじめ、およそ200点を展示します。その後は、およそ2カ月ごとに展示品を入れ替えながら、常時、20~30点をご覧いただける予定です。

熊本  
の歴史や文化を学ぶ  
超一級の素材

「百聞は一見にしかず」です。まずは開館記念展にお越しいただき、世界に誇る永青文庫の名品の数々をご覧ください。

所蔵品は、単なる「国宝」や「高額の美術品」ではなく、先人たちが



国宝「太刀 銘豊後国行平作(たちめいぶんごのくにゆきひらさく)」鎌倉時代  
【展示期間/6月3日(火)~7月6日(日)】  
鎌倉時代の初めに活躍した刀鍛冶(かじ)行平(ゆきひら)が作ったもので、力強さと優美さを兼ね備えた太刀です。この太刀は、細川幽斎(ゆうさい)が、烏丸光広(からすまるみつひろ)に贈ったものとして知られています。



【第1部】  
本館(熊本市二の丸)  
有り、高校生以下無料  
休館日/月曜日  
TEL 096-326-1512  
http://www.kumamoto.jp/

県政トピックスで動画配信中 <http://www.pref.kumamoto.jp/kibs/index.html/>

玉名地域



新幹線くまもと創り

平成23年春 九州新幹線 鹿児島ルート全線開業に向けて

芦北地域

玉名温泉の新たな統一イメージとなるロゴマーク完成!!

平成23年春の九州新幹線全線開業、そして玉名における新幹線新駅開業を見据え、玉名温泉観光旅館協同組合などで組織する「玉名温泉活性化CI(コーポレート・アイデンティティ)制作事業実行委員会」では、玉名温泉の新しいイメージをアピールするため、ロゴマークを作成しました。



(ロゴマーク)

ロゴマークは、玉名平野の水田、小岱山(しょうたいさん)の山裾、菊池川、白鷺(しらさぎ)伝説など玉名の里の原イメージを現代的に表現した図と、「まち里 玉名温泉」という文字からできています。「まち里」は、まちの便利さなどを生かしながら里の豊かさを提供していこうという玉名温泉のあり方を表す造語です。

玉名温泉のイメージをアピールするため、今後、旅館の送迎バスや看板、名刺などに積極的に使用していきます。

お問い合わせ先 玉名温泉観光旅館共同組合 ☎0968-74-2961  
ホームページ <http://www.tamanaonsen.jp/>

白いドレスの海の貴婦人 うたせ船

不知火海の貴婦人「うたせ船」。この「うたせ船」を使ったうたせ網漁は、瀬戸内海の「芸州流し」を起源とし、明治初期から始まったといわれ、風の力で獲物を引き上げる伝統的底引き網漁法として今も行われています。平成18年2月には、農林水産省選定の「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」にも選ばれました。



現在は、エアコン・洗面台・水洗トイレを備えた「レディース船」が新たに就航するなど、観光うたせ船としても活躍し、うたせ網漁体験や新鮮な海の幸のうたせ料理を楽しめます。6月1日までの土・日曜・祝日は特別キャンペーンとして、通常1隻貸切(定員12名)で52,500円(料理付き)の観光うたせ船が、お1人5,000円で乗船できます。(7名以上から)

真っ白い帆を膨らませて、コバルトブルーの不知火海を滑る「うたせ船」の優雅なクルージングをお楽しみください。

お問い合わせ先 芦北観光うたせ船組合 ☎0966-82-3936  
芦北町観光協会 ☎0966-82-2511

新幹線に関する情報を紹介しています!「新幹線くまもと創り」ホームページ [http://cyber.pref.kumamoto.jp/traffic/sinkansen\\_kumamoto/](http://cyber.pref.kumamoto.jp/traffic/sinkansen_kumamoto/)